



発行所
曹洞宗青年会
〒105 東京都港区芝
2-5-2 曹洞宗青年会
執行役員 神野哲也
TEL 03-654-5410

青年乗侶のエネルギーを結集しよう
社会的価値ある活動をしよう
青年乗侶の自覚を促そう
地域における活動の連携を深めよう

第九回曹洞文化学林

タイ・ネパール研修

曹洞文化学林 海外研修も回を重ね九回となった。
今回は、名譽団長に橋山大典宗務総長、老師、講師に駒沢大学教授、鈴木格神先生、曹洞宗ボランティア会の有馬実成事務局長を迎え、参加人員八十七名が三月二十九日より四月五日までの八日間の日程で、タイ・ネパール研修を行った。

また、神野会長、ブラディープ女史に現地S.V.Aスタッフが参加して、ホテルデスカッションがホテルにもとり行なわれ、あらためて海外協力の問題点、むすかしが確認された。
同日夕刻八十七名の参加者中十六名がバンサイワイ村へ農村視察に出発した。

第六日はネパールに研修の地を移し、行なわれた。
仏教ヒンズー教、回教と様々な様子を呈しているネパールで、独自の活動が続け

ている、ネパール仏教会「アーナダクティ寺院」を訪ね、合同法要とネパール仏教事情について研修がなされた。また、付属の学校を表敬訪問し、歓迎宴が行なわれた。

研修の旅は途中、飛行機の遅れなどで日程が多少変更となったことや、ネパールでは学生運動にまきこまれるなど予定外の事もあったが、全員無事帰国をし、第九回曹洞文化学林海外研修の日程をおえ



目次	
総会案内 曹洞文化学林	1
新潟曹洞青年会	2
スリランカ曹洞青年会	3
佐賀曹洞青年会	4
仏教ホスピスをめざして	5
意識調査報告	6

全国曹洞宗青年会

平成元年度

定時総会の御案内

—— 禅の集い中央研修会 ——

平成元年度の定時総会を次のように開催いたします。
今回は平成十三年度の事業・決算等のご報告をいたすとともに、第八期曹洞執行部を選出し、新方針を審議する総会となります。
また、『禅の集い中央研修会』では、七期研修委員会の集大成として、『手縫い格子』の研修、十一月には増上寺と『修養団』の訪問を予定致しております。
多数のご参加をお願い致します。

内容 十日午前十時より
理事、評議員合同会議

午後一時
総会
六十三年度事業、
会計報告
第八期執行部選出
平成元年度事業計
画
予算案 承認

記

時 平成元年五月十日(水)
十一月(木)

会場 曹洞宗宗務庁研修道場
増上寺 修養団

同封の葉書で出欠の有無、委任状の返送をお願いします。

午後三時
禅の集い中央研修会
十一日 八時半出席
増上寺、修養団見学

破草鞋

四季の主役は梅から桜にと移り変わるとする今日此の頃、四季の節目である、地元の中学校では愛娘の卒業式が執り行われた。

先輩を送る在校生代表の送辞には朴訥とした中にも哀惜の念と誠実を感じさせ、答える横上のカッパル、感涙にむせぶ女性を優しく気使いつつも、懸命に演説え、等気丈に頑張り朗読する彼。そんな春開きに会場は次第に喝采が広がって行く。

去り行く彼等に校長先生は「本日は君達にとつて長い人生の一ツの節目である、故に……」とこぼれかけの祝辞を送り下さった。我が娘は君は君の節目にどんな新芽を伸ばして行くのだろうか？

長い人生の節目と言ふは、先日町役場より「健康手帳」なる物が届いた。中にこんな文書が添えてある。「四十才とも言へば社会においても、家庭においても中心的な時で最も責任の重い年代です。しかし、この年代になりますと疲勞や老老化などから体の故障が……」とある。そうか、小生も気がつけば六十七の厄歳なのである。思ふは母の胎内より跳び出て四十の齢を数えらるのである。人間の体も四十を過ぎれば中古車同様のものか？

されど今日の日本人の平均寿命は五十一・六十、そして更には七十一・八十へとその数を確実に伸ばしている。ならば小生なんてその半にしか過ぎず、人生の折返し点、一ツの節目である。この地球上の五十億分の一の人生に過ぎないけれど、掛替のないこの人生だから、確りとした節目を道して行きたい。

このコラム「破草鞋」の執筆も小生にとって此の原稿が最後となる。前任者より受け継ぎ二年間、我が生涯の一ツの節目として胸に深く刻み込まれる事であるからこゝろ高懸下った諸兄宗師に感謝しつつ今筆を擲く。 合掌
越えてゆく 山又山は 冬 山 山頭火

新潟県曹洞宗青年会

設立十周年記念事業開催

南北に長い、まるで日本列島の縮図のような新潟県内の曹洞宗寺院は八百余。全国でもたいへん多い数といえます。

十数年前、各地で活動する曹青が一つになりました。しかも宗務所のわくを超えて未組織地域からも集い、独特の県曹青を形成してまいりました。会員数は二百七十名を超え、年間予算も昭和六十二年度で百七十万円余りとなつています(会費、年三千円)。年間行事も春秋の研修会(秋季は大乗寺専門僧堂三日間安居形式の研修、春のついで(心のゆたかき学園)、ソフトボール大会などで、年二回発行の機関紙「海潮音」の編集と合せ年々充実して行ぜられております。

設立以来特別事業も、良寛和尚百五十回忌奉讃事業、仏教セミナー(連続講演会)・禅展、海外研修(インド・中国)など多数の会員の結果を得て実施されて円成し、更に全曹青に団体加入して今日に至っています。

そしてこの度、十年目の節目に内外の有形無形の賛助協力を得て私ども宗門人否、仏教徒のたどりつく源である釈尊をテーマに記念事業が展開されました。

(内容別記)

折しも年号も改まり平成の時代となり青年会活動も新しい時代に入る思いが肝に銘ぜられる

事業内容

●参禅茶会

四月七日・九日瑞光寺を会場に坐禅と抹茶の会が催されました。入場者数二百六十名。

●曹洞宗現代名僧墨蹟展並びに即売会

ゆかねばならないと思います。合わせて、県曹青事業に一貫しての「交通遺児に愛の手を」のスローガンも徹底してゆく必要があります。

大嶋画廊・瑞光寺に於て多数の入場者を集め墨蹟の展覧が即売会を開催。

●花まつり法要とおはなし

酒井大集師を講師に招き、お釈迦さま誕生を祝い花まつり法要と「人間観」を語る講演会に入場者は一〇〇名をこえた。

●記念講演と座談会

一〇〇名の入場を数え、今仏教界で。お釈迦さまについて考えられる最高のメンバに、中村元・松原泰道・ひろさちや・奈良康明の各先生方が。お釈迦さまの魅力をホトに語られました。

●ミュージカル「風を見た人」

多くの試行錯誤を重ね、いろいろな事にチャレンジする。失敗もする。先走りも多い。しかしこの波紋が確実に広がってゆく事を念願するものです。全国の皆様方の御支援をお願い申し上げます。

●チャリティー・托鉢

県内十四ヶ所を托鉢が行なわれ合計六十二万三千二百二十八円の浄財が集められました。これは交通遺児の為に使われます。

新潟県曹青

十年のあゆみ

(一) 32、12 県内各地の青年会に呼びかけ、連絡協議会を設置

4 14 15 新潟県曹洞宗青年会設立総会 於長岡

5 20 会報「海潮音」創刊(現在第19号)

11 8 研修会 於十日町市曹青

11 8 水戸市・相互訪問(百回忌法要)

11 8 子修法要・記念講演

55 年 5 16 18 良寛和尚百五十回忌奉讃事業

11 14 16 秋学研修会 於横越村・大乗寺

11 14 16 秋学研修会 於横越村・大乗寺

11 14 16 秋学研修会 於横越村・大乗寺

11 14 16 秋学研修会 於横越村・大乗寺

11 14 16 秋学研修会 於横越村・大乗寺

11 14 16 秋学研修会 於横越村・大乗寺

11 14 16 秋学研修会 於横越村・大乗寺

11 14 16 秋学研修会 於横越村・大乗寺

11 14 16 秋学研修会 於横越村・大乗寺

11 14 16 秋学研修会 於横越村・大乗寺

11 14 16 秋学研修会 於横越村・大乗寺

11 14 16 秋学研修会 於横越村・大乗寺

11 14 16 秋学研修会 於横越村・大乗寺

11 14 16 秋学研修会 於横越村・大乗寺

11 14 16 秋学研修会 於横越村・大乗寺

11 14 16 秋学研修会 於横越村・大乗寺

11 14 16 秋学研修会 於横越村・大乗寺

11 14 16 秋学研修会 於横越村・大乗寺

11 14 16 秋学研修会 於横越村・大乗寺

11 14 16 秋学研修会 於横越村・大乗寺

11 14 16 秋学研修会 於横越村・大乗寺

11 14 16 秋学研修会 於横越村・大乗寺

11 14 16 秋学研修会 於横越村・大乗寺

11 14 16 秋学研修会 於横越村・大乗寺

11 14 16 秋学研修会 於横越村・大乗寺

11 14 16 秋学研修会 於横越村・大乗寺

11 14 16 秋学研修会 於横越村・大乗寺

11 14 16 秋学研修会 於横越村・大乗寺

11 14 16 秋学研修会 於横越村・大乗寺

11 14 16 秋学研修会 於横越村・大乗寺

11 14 16 秋学研修会 於横越村・大乗寺

11 14 16 秋学研修会 於横越村・大乗寺

11 14 16 秋学研修会 於横越村・大乗寺

11 14 16 秋学研修会 於横越村・大乗寺

11 14 16 秋学研修会 於横越村・大乗寺

11 14 16 秋学研修会 於横越村・大乗寺

11 14 16 秋学研修会 於横越村・大乗寺

11 14 16 秋学研修会 於横越村・大乗寺

11 14 16 秋学研修会 於横越村・大乗寺

11 14 16 秋学研修会 於横越村・大乗寺

65 年

6 17 設立十周年記念事業

●禅の秘宝展

●大乗神会

●曹洞宗名僧墨蹟展

7 月 県社会福祉協議会表彰

8 22 24 第4回心のゆたかき学園 坐ハシクリ

9 1 小千谷市・市民の家

9 1 十日町市・市民の家

9 1 十日町市・市民の家

9 1 十日町市・市民の家

9 1 十日町市・市民の家

9 1 十日町市・市民の家

9 1 十日町市・市民の家

9 1 十日町市・市民の家

9 1 十日町市・市民の家

9 1 十日町市・市民の家

9 1 十日町市・市民の家

9 1 十日町市・市民の家

9 1 十日町市・市民の家

9 1 十日町市・市民の家

9 1 十日町市・市民の家

9 1 十日町市・市民の家

9 1 十日町市・市民の家

9 1 十日町市・市民の家

9 1 十日町市・市民の家

9 1 十日町市・市民の家

9 1 十日町市・市民の家

9 1 十日町市・市民の家

9 1 十日町市・市民の家

9 1 十日町市・市民の家

9 1 十日町市・市民の家

9 1 十日町市・市民の家

9 1 十日町市・市民の家

9 1 十日町市・市民の家

9 1 十日町市・市民の家

9 1 十日町市・市民の家

9 1 十日町市・市民の家

9 1 十日町市・市民の家

9 1 十日町市・市民の家

9 1 十日町市・市民の家

9 1 十日町市・市民の家

9 1 十日町市・市民の家

9 1 十日町市・市民の家

9 1 十日町市・市民の家

9 1 十日町市・市民の家

9 1 十日町市・市民の家

9 1 十日町市・市民の家

9 1 十日町市・市民の家

9 1 十日町市・市民の家

チャリティー・交通遺児に愛の手を



去る一月二十日、スリランカパラマ・ダンマ・チューティ寺に坐禅堂が完成し、今回は特に大本山永平寺丹羽廉芳禪師親下御親修により落慶法要が厳修されました。

第八回禅文化学林海外研修が名譽団長に大本山永平寺貴首親下を招聘申し上げこの地で、一昨年取りおこなわれ、その折、坐禅堂建設が具体的なものとなり親下とともに地鎮祭が行われ、全曹青からも建設資金を贈呈いたしました。

スリランカ禅堂落慶

時期といえましょう。この記念事業に当り一昨年から実行委員会を度々開き討議を重ね、更に昨年は三度に渡り県内各地で駒沢大学教授奈良康明先生をお招きして勉強会を催したり、地域のラジオ放送への出演、企業や団体へのPR活動、寒行托鉢などを次々に実施して内容を県内に広報して準備に当たっていました。

もとより青年僧である私達は未熟であり、釈尊とは？という問いに完全に答えようとか、仏教をよみがえらせよう等と高遠に必ず批判として出るものには、○サロシ仏教。○地域会員の声などがとれない。○組織活動より各々の地域に於て主体的に活動してこそ僧侶の本分である。○派手なこともより脚下に道を求めよ。などがあるかと思えます。他の事も含め私達はこれらの提言を謙虚に受けとめ、道念を持続させてゆかねばなりません。今回の記念事業も実施に当り多くの方々に御参加いただきました。更に講演記録やミュージカルシナリオ等の保存、記念出版の追補研究の継続等心がけて

当日、午後、スリランカの民族舞踊に迎えられて禪師様が到着なされ、本堂を拝登した後、新築がなされた坐禅堂にむかわれました。

この地の儀式（スリランカでは落慶の際、入口において、粥を焚き、それが煮えなうって、ぶきこばれた時が最上の時とされる）がとりおこなわれ入堂、宗旨にのつった開眼法要が行われました。

建て物は約四十坪、瓦葺きの鉄筋コンクリート平屋作りで五十名が一度に坐することが出来ます。

日本からは総勢百六十余名が参列、全曹青からも二十名が参加し開眼法要の後坐禅と提唱をいただきました。

落慶後の祝賀会においては監院老師より、「二年間、かくれた。力。となつて全曹青がこの計画をささえてきた」との称賛の言葉を賜りました。



アショカツアーズ 夏のスペシャル旅行

① 夏のインド仏跡・心の旅 9日間

398,000円（大阪・東京発着）8月19日発
仏跡地をチャーター機で効率よく巡拝。

- ① 大阪・東京→カルカッタ
- ② カルカッタ→ガヤ（チャーター機）→ブダガヤ
- ③ ブダガヤ→ラジキール→ブダガヤ
- ④ ブダガヤ→ガヤ→ゴラクプル（チャーター機）
- ⑤ ゴラクプル→ルンビニー→ゴラクプル
- ⑥ ゴラクプル→クシナガラ→ベナレス
- ⑦ ベナレス→デリー
- ⑧ デリー
- ⑨ 大阪・東京

② 秘境ラダックの旅 12日間

358,000円（大阪・東京発着）7月5日発
インダス川の源流に仏教最後の安住の地を訪ねて

- ① 東京・大阪→デリー
- ② デリー→スリナガル
- ③ スリナガル→カーギル
- ④ カーギル→レー（ラダック）
- ⑤ ⑥・⑦ レー
- ⑧ レー→パナマルグ
- ⑨ パナマルグ→スリナガル
- ⑩ スリナガル→デリー
- ⑪ デリー
- ⑫ 大阪・東京

③ 中国仏教美術探訪 10日間

368,000円（大阪発着）8月26日発
砂漠の大画廊敦煌、炳靈寺、竜門石窟、開放されたばかりの蒙東石窟を見学。

訪問都市：上海・鄭州・洛陽・西安・敦煌・蘭州

SHOKA
TOURS
アショカツアーズ

（株）ビーエス観光
一般旅行業務取扱主任者 松澤修三
〒530 大阪市北区中之島3-6-32（ダイビル1F）
TEL 06-444-2221（代）444-2225（直）
担当：松浦・山下

曹洞宗鳥取県青年会

苦楽を共にして、民衆と心のふれ合いを通して、気持が一体となり、相談相手となり、人生の指導者であつたと話された。

A black and white photograph of a large group of students and faculty members posing in front of a building. The group is arranged in several rows, with some individuals kneeling in the front. A banner is visible in the background.

九州曹青ビルマ救援挖鉢

—アジア仏教徒協会支援—

えて、必死で救援にあたっているが、
 実には限界を越えている状態だ。
 犠牲となつてゐるのは赤ン坊や子ども
 老人といった弱者で、特にミルク、ヒタミ
 剤、抗生物質など緊急に切望している。

今ビルマでは政治情不安から米穀・医薬品不足で、飢えと病に苦んでゐる。例は、榮業堂から母親の乳が、出まぬ乳を、足して榮業堂乳を、一軒下で検査して、たれられたりして、多くの幼い命が犠牲となつておりました。国民の多くは、お寺に助けを求めて流れ込み、お寺ではいろいろな人々を救つたため、先頭に立つて救護活動を行つておりました。

普賢宗佐賀県青年会ではこのような状況を見て、同じ宗教者として、ビルマ仏教救護活動に立ちあげました。よろしく御協力下さい。

少しだけ愛を下さい
ヒルマ国民にミルツを贈ろう

こうしたことから、昨年十月、九州曹青久賀永雄会長では、協会の呼びかけに応じ、各県曹青を中心に救援活動に乗り出した。

熊本曹青（渡辺紀生会長）は「愛の袋」（金袋）を配布し、理解と協力を訴えながら、実績をあげている。

日本とビルマは戦中戦後を通じて浅からぬ因縁がある。インパール作戦の敗退で多くの日本将兵がビルマ人の手で助けられた。戦後はビルマから米の援助を受け、更に海外から多くの援助がなされたことは、国連のウ・タント事務総長（ビルマ人）のおかげである。

今こそ、ビルマ国民のためにご恩返しをする時だと思ふ。またビルマの現状は同じ仏教徒としても見過しにはできない。曹青会員の皆さまのご理解とご協力をお願いします。

協会では、具体的な救済方法として次の二つのことを提案している。一つは、協会発行の『ビルマをゆく』（カラークラビア誌100ページ）写真入を二、〇〇〇円（定価二、三〇〇円）で頒布してもらい、

法要の際にご本堂などで—

曹洞宗旨護經大全

修證義三二本

妙法蓮華經
●安樂品●尊嚴品

別紙金欄仕上げ表紙(3冊セット)
¥7,000

洋紙(きぬもみ)仕上げ表紙(3冊セット)
×6,000

●お申し込みは— (株) **タイキ** 〒538 大阪市鶴見区今津中3丁目9番6号
TEL (06) 960-7101 FAX (06) 960-7102

384 —

昭和62年度全国曹洞宗青年会意識調査—報告

4. 満年令別 * < 宗務所 > page 1

	熊本 数	北海道 第1	北海道 第2	北海道 第3	青森 県	岩手 県	宮城 県	秋田 県	山形 県 第1	山形 県 第2	山形 県 第3	福島 県	茨城 県	栃木 県
全 体	100.0 1193	1.4 17	2.3 27	1.8 22	2.6 31	3.2 38	7.7 92	3.4 40	1.4 17	1.0 12	-	2.1 25	1.1 13	0.3 3
20～24歳	100.0 40	2.5 1	-	-	2.5 1	2.5 1	-	-	-	2.5 1	-	-	-	2.5 1
25～29歳	100.0 160	1.9 3	1.9 3	1.9 3	0.6 1	1.3 2	6.3 10	3.8 6	3.8 6	1.3 2	-	1.3 2	1.9 3	0.6 1
30～34歳	100.0 236	-	5.1 12	1.7 4	3.0 7	2.5 6	6.4 15	3.0 7	0.4 1	0.4 1	-	3.0 7	-	-
35～39歳	100.0 336	1.5 5	2.1 7	1.8 6	2.4 8	4.2 14	5.1 17	5.1 17	0.9 3	1.5 5	-	3.9 13	2.4 8	0.3 1
40歳以上	100.0 408	2.0 8	1.2 5	2.0 8	3.4 14	3.2 13	11.8 48	2.5 10	1.7 7	0.7 3	-	0.7 3	0.5 2	-

4. 満年令別 * < 宗務所 > page 2

	群馬 県	埼玉 県 第1	埼玉 県 第2	千葉 県	東京 都	神奈 川 県 第1	神奈 川 県 第2	新潟 県 第1	新潟 県 第2	新潟 県 第3	新潟 県 第4	富山 県	石川 県	福井 県
全 体	1.9 23	2.0 24	0.3 4	2.2 26	0.4 5	0.6 7	0.3 4	2.8 33	0.1 1	0.9 11	2.5 30	-	0.8 10	0.7 8
20～24歳	-	-	7.5 3	12.5 5	10.0 4	-	5.0 2	2.5 1	-	-	-	-	-	-
25～29歳	1.9 3	3.1 5	-	4.4 7	-	1.3 2	-	1.3 2	-	-	4.4 7	-	0.6 1	1.3 2
30～34歳	3.4 8	2.5 6	0.4 1	2.5 6	-	0.4 1	0.4 1	2.5 6	-	1.3 3	3.0 7	-	0.8 2	0.4 1
35～39歳	2.7 9	0.9 3	-	2.1 7	-	0.6 2	0.3 1	1.5 5	-	-	1.8 6	-	0.6 2	1.2 4
40歳以上	0.7 3	2.5 10	-	0.2 1	0.2 1	0.5 2	-	4.4 18	0.2 1	1.7 7	2.5 10	-	1.2 5	0.2 1

4. 満年令別 * < 宗務所 > page 3

	山梨 県	長野 県 第1	長野 県 第2	岐阜 県	静岡 県 第1	静岡 県 第2	静岡 県 第3	静岡 県 第4	愛知 県 第1	愛知 県 第2	愛知 県 第3	三重 県 第1	三重 県 第2	滋賀 県
全 体	6.8 81	0.2 2	2.0 24	4.5 54	5.5 66	0.3 3	4.6 55	1.2 14	3.3 39	1.5 18	1.2 14	1.2 14	0.3 3	1.0 12
20～24歳	5.0 2	-	2.5 1	-	-	7.5 3	5.0 2	-	2.5 1	2.5 1	-	2.5 1	-	-
25～29歳	1.3 2	1.3 2	2.5 4	3.1 5	2.5 4	-	6.3 10	1.3 2	3.8 6	-	2.5 4	1.3 2	0.6 1	1.3 2
30～34歳	6.4 15	-	2.5 6	5.9 14	8.1 19	-	4.7 11	1.7 4	3.0 7	1.3 3	0.4 1	0.8 2	0.4 1	0.8 2
35～39歳	9.2 31	-	2.4 8	5.1 17	4.5 15	-	2.4 8	1.2 4	5.1 17	0.9 3	0.6 2	1.8 6	0.3 1	2.1 7
40歳以上	7.6 31	-	1.2 5	4.2 17	6.9 28	-	5.4 22	1.0 4	2.0 8	2.7 11	1.7 7	0.7 3	-	0.2 1

4. 満年令別 * < 宗務所 > page 4

	京都 府	大阪 府	兵庫 県 第1	兵庫 県 第2	奈良 県	和歌 山 県	鳥取 県	島根 県 第1	島根 県 第2	岡山 県	広島 県	山口 県	徳島 県	香川 県
全 体	0.1 1	1.3 16	-	0.2 2	0.9 11	-	2.0 24	0.4 5	1.4 17	-	3.5 42	1.8 21	0.1 1	0.1 1
20～24歳	-	-	-	2.5 1	-	-	2.5 1	-	-	-	-	-	2.5 1	-
25～29歳	-	3.8 6	-	-	0.6 1	-	1.9 3	-	0.6 1	-	8.1 13	1.9 3	-	-
30～34歳	-	1.7 4	-	-	0.4 1	-	0.4 1	0.4 1	2.1 5	-	3.0 7	1.7 4	-	-
35～39歳	-	1.8 6	-	-	-	-	1.8 6	0.6 2	1.5 5	-	3.0 10	2.4 8	-	-
40歳以上	0.2 1	-	-	0.2 1	2.2 9	-	3.2 13	0.5 2	1.2 5	-	2.9 12	1.2 5	-	0.2 1

4. 満年令別 * < 宗務所 > page 5

	受 戒 果	高 知 果	福 満 果	佐 賀 果	長 崎 果 第 1	長 崎 果 第 2	長 崎 果 第 3	熊本 果 第 1	熊本 果 第 2	大 分 果	宮 崎 果	鹿 児 島 果	無 回 答
全 体	1.4 17	0.3 3	1.9 23	2.9 35	0.8 9	-	-	0.2 2	-	0.3 3	1.3 16	0.2 2	1.7 20
20～24歳	-	-	2.5 1	5.0 2	-	-	-	-	-	-	-	-	7.5 3
25～29歳	-	0.6 1	3.1 5	1.9 3	1.3 2	-	-	-	-	-	1.3 2	-	3.1 5
30～34歳	0.8 2	-	2.5 6	2.1 5	0.4 1	-	-	0.4 1	-	-	2.5 6	-	2.1 5
35～39歳	0.6 2	0.3 1	2.7 9	2.7 9	1.2 4	-	-	0.3 1	-	0.6 2	1.5 5	0.3 1	0.9 3
40歳以上	3.2 13	0.2 1	0.5 2	3.9 16	0.5 2	-	-	-	-	0.2 1	0.7 3	0.2 1	0.7 3

4. 満年令別 * 1. 寺院での立場 page 6

	標 本 数	住 職	副 住 職	住 職 補 佐 任	徒 弟	無 回 答
全 体	100.0 1193	53.3 636	26.8 320	4.6 55	13.9 166	1.3 16
20～24歳	100.0 40	2.5 1	-	10.0 4	87.5 35	-
25～29歳	100.0 160	26.9 43	31.9 51	5.6 9	35.0 56	0.6 1
30～34歳	100.0 236	40.7 96	40.3 95	5.5 13	13.1 31	0.4 1
35～39歳	100.0 336	52.1 175	33.9 114	5.1 17	8.6 29	0.3 1
40歳以上	100.0 408	78.4 320	14.5 59	2.9 12	3.7 15	0.5 2

4. 満年令別 * 2. 性 別 page 7

	標 本 数	男 性	女 性	無 回 答
全 体	100.0 1193	98.7 1177	0.4 5	0.9 11
20～24歳	100.0 40	100.0 40	-	-
25～29歳	100.0 160	98.8 158	1.3 2	-
30～34歳	100.0 236	99.6 235	0.4 1	-
35～39歳	100.0 336	100.0 336	-	-
40歳以上	100.0 408	99.5 406	0.5 2	-

4. 満年令別 * 3. 未婚済 page 8

	標 本 数	結 婚 し て い る	結 婚 し て い な い	無 回 答
全 体	100.0 1193	78.5 936	20.5 244	1.1 13
20～24歳	100.0 40	-	100.0 40	-
25～29歳	100.0 160	35.6 57	64.4 103	-
30～34歳	100.0 236	74.2 175	25.8 61	-
35～39歳	100.0 336	92.0 309	7.7 26	0.3 1
40歳以上	100.0 408	96.3 393	3.4 14	0.2 1

4. 満年令別 * 4. 満年令 page 9

	標 本 数	2 0 歳 代	2 5 歳 代	3 0 歳 代	3 5 歳 代	4 0 歳 以 上	無 回 答
全 体	100.0 1193	3.4 40	13.4 160	28.2 336	34.2 408	1.1 13	1.1 13
20～24歳	100.0 40	100.0 40	-	-	-	-	-
25～29歳	100.0 160	-	100.0 160	-	-	-	-
30～34歳	100.0 236	-	-	100.0 236	-	-	-
35～39歳	100.0 336	-	-	-	100.0 336	-	-
40歳以上	100.0 408	-	-	-	-	100.0 408	-

4. 満年令別 * 5. 法 令 page 10

	標 本 数	1 0 歳 未 満	1 0 歳 未 満	1 5 歳 未 満	2 0 歳 未 満	2 5 歳 未 満	3 0 歳 未 満	3 5 歳 未 満	無 回 答
全 体	100.0 1193	6.5 77	12.6 150	19.1 228	22.2 265	16.6 198	9.4 112	8.6 103	5.0 60
20～24歳	100.0 40	50.0 20	47.5 19	-	-	-	-	-	2.5 1
25～29歳	100.0 160	13.8 22	34.4 55	48.8 79	1.3 2	-	-	-	1.9 3
30～34歳	100.0 236	5.1 12	21.2 50	35.6 84	31.8 75	1.7 4	-	-	4.7 11
35～39歳	100.0 336	4.8 16	3.6 12	13.4 45	39.9 134	33.3 112	1.5 5	0.3 1	3.3 11
40歳以上	100.0 408	1.7 7	3.4 14	4.9 20	13.2 54	20.1 82	26.2 107	24.8 101	5.6 23

4. 満年令別 * 10. 最終学歴 page 16

	標 本 数	所 属 す る 学 校 の 名 称	所 属 す る 学 校 の 名 称	無 回 答
全 体	100.0 1193	87.5 1044	11.5 137	0.6 7
20～24歳	100.0 40	37.5 15	62.5 25	-
25～29歳	100.0 160	82.5 132	17.5 28	0.6 1
30～34歳	100.0 236	90.3 213	9.7 23	-
35～39歳	100.0 336	89.6 301	10.1 34	0.3 1
40歳以上	100.0 408	93.4 381	6.6 27	0.2 1

4. 満年令別 * 6. 出 身 page 11

	標 本 数	本 の 宗 務 所 出 身	他 の 宗 務 所 出 身	在 家 出 身 の 人	無 回 答
全 体	100.0 1193	87.6 1045	0.6 7	10.5 125	1.3 16
20～24歳	100.0 40	90.0 36	-	10.0 4	-
25～29歳	100.0 160	87.5 140	-	11.3 18	1.3 2
30～34歳	100.0 236	90.7 214	-	8.9 21	0.4 1
35～39歳	100.0 336	89.6 301	0.9 3	9.2 31	0.3 1
40歳以上	100.0 408	86.3 352	1.0 4	12.5 51	0.2 1

4. 満年令別 * 8. 居住地 page 13

	標 本 数	所 属 す る 学 校 の 名 称	所 属 す る 学 校 の 名 称	無 回 答
全 体	100.0 1193	87.5 1044	11.5 137	0.6 7
20～24歳	100.0 40	37.5 15	62.5 25	-
25～29歳	100.0 160	82.5 132	17.5 28	0.6 1
30～34歳	100.0 236	90.3 213	9.7 23	-
35～39歳	100.0 336	89.6 301	10.1 34	0.3 1
40歳以上	100.0 408	93.4 381	6.6 27	0.2 1

[illegible]

	撰本 数	業務 地に 常任	師範 寺に 常任	岡本 山等 に	勤務 のため	宗立 学校 ・宗門 開校	係属 のため	海外 のため	当校 以外 に	る 居地 が有 る	兼職 のため	在学 のため	その他 の理由	無 回答
全 体	100.0 137	5.1 7	19.7 27	27.0 37	1.5 2	-	-	19.7 27	10.9 15	2.9 4	11.7 16	1.5 2		
2 0 ～ 2 4 歳	100.0 25	-	8.0 2	64.0 16	-	-	-	-	-	12.0 3	8.0 2	8.0 2		
2 5 ～ 2 9 歳	100.0 28	3.6 1	14.3 4	35.7 10	3.6 1	-	-	10.7 3	10.7 3	3.6 1	7.9 5	-		
3 0 ～ 3 4 歳	100.0 23	-	34.8 8	8.7 2	-	-	-	30.4 7	13.0 3	-	13.0 3	-		
3 5 ～ 3 9 歳	100.0 34	2.9 1	29.4 10	8.8 3	-	-	-	35.3 12	14.7 5	-	8.8 3	-		
4 0 歳 以上	100.0 27	18.5 5	11.1 3	22.2 6	3.7 1	-	-	18.5 7	14.8	-	11.1	-		

	標準 人数	中 学 校	高 等 学 校 一 般 の	高 等 学 校 宗 門 属 係 の	短 期 大 学 一 般 の	短 期 大 学 宗 門 属 係 の	短 期 大 学 部 大 仏 教 学 科	宗 門 属 係 の 大 学	知 識 学 科 以 外 の 大 学	一 般 の 大 学	大 学 院 専 攻 宗 教	大 学 院 以 外 の 専 攻	仏 教 専 修 科 修 了	在 学 し た こ と	の な い 人	そ の 他 の 学 校
全 体	100.0 1193	1.1 13	7.0 84	2.1 25	0.8 10	5.6 67	49.5 590	11.5 137	12.2 145	7.0 83	1.2 14	0.2 2	-	-	-	1.3 16
2 0 ～ 2 4 歳	100.0 40	- 2	5.0 7	- -	- -	- -	80.0 32	5.0 7	7.5 1	2.5 -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
2 5 ～ 2 9 歳	100.0 160	0.6 1	3.1 5	1.9 3	0.6 1	6.3 10	69.4 111	4.4 11	8.1 13	5.0 8	- -	- -	- -	- -	- -	- -
3 0 ～ 3 4 歳	100.0 236	0.8 2	5.1 12	1.7 4	0.4 1	4.2 10	50.4 119	12.3 29	11.9 28	8.9 21	1.7 4	0.8 2	-	-	-	1.7 4
3 5 ～ 3 9 歳	100.0 336	0.6 2	6.3 21	2.4 8	0.6 2	5.7 19	49.1 165	10.7 36	12.8 43	8.6 29	1.2 4	- -	- -	- -	- -	0.9 3
4 0 歳 以 上	100.0 508	1.7 21	10.5 136	2.5 31	1.5 2	6.9 19	38.7 165	14.7 36	13.7 46	5.9 29	1.5 6	- -	- -	- -	- -	2.1 26

	標本 数	自ら 進ん で	小 さい 内 に 得	り な か り な と な く	寺 に 生 ま れ た と な	く で な と な	寺 に 生 ま れ た と な	の で 仕 方 な く	そ の 他
全 体	100.0 1193	31.8 379	5.1 61	40.1 478	14.3 171	6.8 81			
20～24歳	100.0 40	30.0 12	2.5 1	52.5 21	10.0 4	2.5 1			
25～29歳	100.0 160	34.4 55	3.0 5	68.1 110	12.5 20	6.9 11			
30～34歳	100.0 236	35.6 84	10 2	41.9 99	11.9 28	5.5 13			
35～39歳	100.0 336	32.1 105	4.2 14	41.7 140	13.4 45	6.5 22			
40歳以上	100.0 408	28.2 115	7.1 29	37.3 152	17.9 73	8.3 31			

	標本数	普通課程	職業課程	工業など商業	無回答
全 体	100.0 109	76.1 83	19.3 21	4.6 5	
20～24歳	100.0 2	50.0 1	50.0 1	- -	
25～29歳	100.0 8	62.5 5	37.5 3	- -	
30～34歳	100.0 16	56.3 9	31.3 5	12.5 2	
35～39歳	100.0 29	82.8 24	13.8 4	3.4 1	
40歳以上	100.0	81.1	15.1	3.8	

	標準 數	宗教 學、 神學	哲學 、倫理 學	文學 、語 學	歷史 、地 理學	社會 學、 心理 學、 教育 學	經濟 學、 商學	政治 學、 法學	醫學 、齒 科學 、藥 學	獸 醫學 、農 學、 林學	福 祉學	生 理學 、保 險學	藝 術 、音 樂、 美術	其 他
全 體	100.0 1054	42.0 447	0.4 4	4.0 43	3.2 34	2.7 29	4.8 51	3.8 40	0.3 3	0.6 6	1.6 17	0.2 2	0.7 7	2.9 31
20 ~ 24 歲	100.0 38	65.8 255	2.6 1	2.6 -	- -	- -	2.6 1	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
25 ~ 29 歲	100.0 150	54.7 82	- -	0.7 1	- -	0.7 1	2.7 4	1.3 2	- -	0.7 1	3.3 5	- -	0.7 1	2.7 4
30 ~ 34 歲	100.0 218	42.7 93	0.9 2	1.4 3	2.8 6	3.2 7	4.1 9	8.3 18	- -	0.9 2	2.8 6	- -	- -	3.2 7
35 ~ 39 歲	100.0 391	39.2 118	- -	5.3 16	4.3 13	2.7 8	4.7 14	2.0 6	0.7 2	0.7 2	1.3 2	0.7 2	1.0 3	3.3 10
40 歲以上	100.0 1247	35.7 124	0.3 -	6.3 12	4.0 16	3.7 7	6.1 14	4.0 14	0.3 1	0.3 0	0.6 2	- -	0.9 2	2.9 10